

特集 購進 徒然なるままに 第五十二弾

**新型コロナウイルスとの
戦いに打ち克つ**

平沢 勝栄

●衆議院議員

新型コロナウイルス問題が世界を揺るがしている。日本もここにきて感染者が急増し、事態は深刻の度を増してきた。

ところで、今回の新型コロナウイルス問題はなぜ発生の初期の段階で抑えることができなかつたのだろうか。そして、その責任は誰にあるのか、など多くの疑問がある。これらについては終息した段階で公平な第三者機関でしっかりと検証する必要がある。

今回の問題にあたって政府及び自治体は、国民に対し様々な要請を行っている。小中高に対しては臨時休校を求め、また大きなイベント等の中止や延期を要請している。更にはテレワーク、そして時差出勤などの要請も行い、東京都などは週末の外出自粛などを要請した。

これらの要請はあくまで、お願いベースで行われたもので、法的根拠に基づくものではない。しかし、日本国民は概してこ

うした要請に極めて協力的である。その結果、感染の拡大がかなり抑止されたことは間違いない。

外国では必ずしもそうではない。イタリアでは新型コロナウイルスによる感染が爆発的に拡大して国家危機になっている。

その結果各地で混乱が起り、刑務所では面会制限に怒った受刑者が暴動を起こすなどの問題が生じている。豪州などではマスクや雑貨などの販売をめぐる競り合いが各所で起こったことなどが報道されている。

なぜ日本ではこうした危機の際に、国民は沈着冷静で政府に協力的なのだろうか。これには大きく二つの理由が考えられると思う。

第一は日本人の国民性だ。一般的に日本人は礼儀正しく勤勉で、忍耐強いと言われる。社会

における「連帯意識」そして「共同体意識」も強い。こうした日本人の国民性が危機の際に大きな力となって感染拡大防止にプラスに働いているのではないかと。第二は、日本では多くの国民は政府を信頼している。その結果、政府などの呼びかけに国民は概して協力的となる。不要不急の外出自粛の要請に対しても、多くの国民は混乱なく冷静に受け入れている。

論語に「民信なくば立たず」とある。幸い日本では良き国民性に加えて政府への信頼がある。日本は今後、諸外国との緊密な連携・協力のもと、姿なき新型コロナウイルスとの戦いに挑んでいくことになる。国民が一致協力してしっかりと取り組んでいけば確実にこの戦いに我々は打ち克つことができるだろう。

☆

☆